

【 第15回 女子ジュニアアジア選手権 】

2019年7月20日～7月29日 レバノン・ベイルート

試合結果報告 7 月 26 日 (土)

JAPAN	vs	中国
14	1st	10
12	2nd	11
	ex	
	ex	
26	TOTAL	21

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
1	榎 真菜	0	0			0
2	田淵 美沙	0	2			2
3	上田 遥歌	2	1			3
4	阿部 美幸	1	3			4
5	谷藤 悠	1	3			4
7	服部 沙也加	0	0			0
8	弓削 春風	0	0			0
9	岡田 彩愛	3	1			4
10	平野 宗香	2	0			2
11	守屋 葵	0	0			0
12	大山 めい	0	0			0
13	安田 つぐみ	0	0			0
14	瀧川 璃紗	1	1			2
15	宇治村 唯	0	1			1
16	上嶋 亜樹	0	0			0
18	竹内 琉奈	4	0			4
TOTAL		14	12	0	0	26

戦況

グループリーグを1位通過した日本の準決勝の相手は、前回大会で苦杯をなめた中国。
日本は、阿部、平野、上田、竹内、谷藤、岡田、GK・榎というスターティングメンバー。竹内の速攻で試合がスタートする。立ち上がりのDFは、サイドやミドルを打たれるがGK榎がシャットアウト、OFではバックとポストの縦の2対2を軸としたセット攻撃で、岡田のカットイン、上田のポスト、平野のサイドなどで得点を重ね、開始18分で11-4と7点のリードを奪う。
しかし、中国も左バックのエース・ZHOUのミドルやセンターZHUのカットインなどで反撃、前半を14-10で終える。

後半も、前半同様日本のDFが機能し、得意な速攻に持ち込むが、オーバーステップやキャッチミスなどで得点に結びつけることができない。セットOFでもシュートまではいくものの、相手GK・SONGのナイスセーブに阻まれる。一方、中国は日本のミスに速攻につなげて確実に得点を重ね、後半12分には15-16と1点差にまで迫る。ここでたまたまタイムアウトを取り、攻撃のきっかけを確認した日本。タイムアウト明けに阿部のミドル、谷藤のカットイン、岡田の7mスローなどで攻撃のリズムを取り戻し、中国を引き離すことに成功する。43%という高セーブ率をマークし、安定したキーピングを披露したGK・榎を軸に、最後までDFの固さを見せた日本が26-21で勝利、決勝の舞台へと駒を進めた。

報告記入者 :

永野 翔大